

K-pop歌詞から見る k-popの構造

東京理科大学 経営学部 経営学科

櫻庭里那

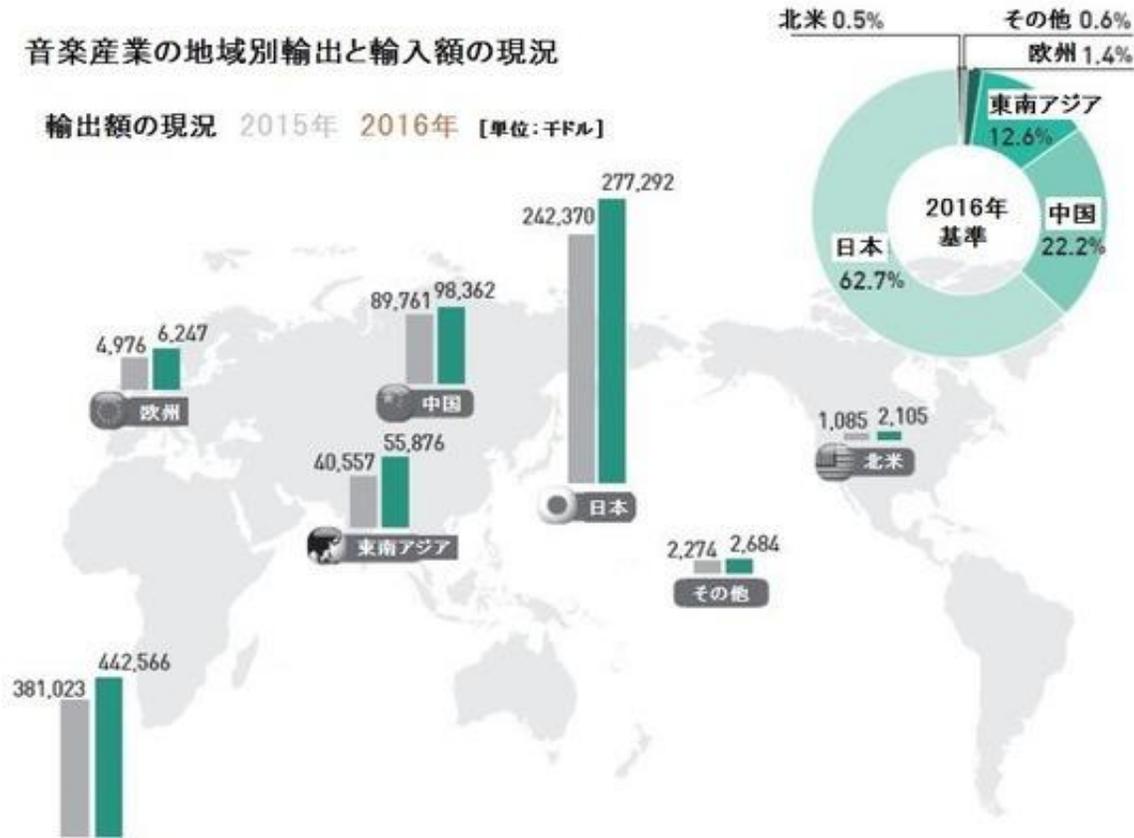
目次

1. 研究概要
2. 研究目的
3. 研究方法
4. 分析方法
5. 分析結果
6. 考察
7. 参考文献

1. 研究概要 ~世界から見た日本のk-pop市場~

音楽産業の地域別輸出と輸入額の現況

輸出額の現況 2015年 2016年 [単位:千ドル]



2016年時点でK-POPの売上の6割は日本が占めていることが分かる



日本市場は広いため、k-popは浸透しやすい！！

1. 研究概要 ~韓流ブーム~

ドラマ「冬のソナタ」
の流行

K-popアイドル「TWICE」「BTS」
の流行
その他にもファッション、食べ物、
コスメも人気になる

第1次(2005~2007年)

第2次(2010~2012年)

第3次(2017~現在)

K-popアイドル
「東方神起」や「少女時代」の流行

2. 研究目的

**日本で販売されたK-POPアイドルの
アルバムの歌詞を分析し、変化を見る**

3. 研究方法

①対象

UTANETに掲載されているk-popアイドルの歌
アーティスト

第2次:少女時代、BigBang、SHINee、東方神起、T-ara、2NE1、2PM

第3次:TWICE、BTS、BLACKPINK、SEVENTEEN、IZONE、NCT127、GOT7

②収集データ期間 2020/12/4~12/15

③データ収集方法

上記のアーティスト(日本で流行した)の歌詞をUTANETで調べ、Excelに複写した。

④第2次、第3次のK-POPアイドルブームを基準に調べた。

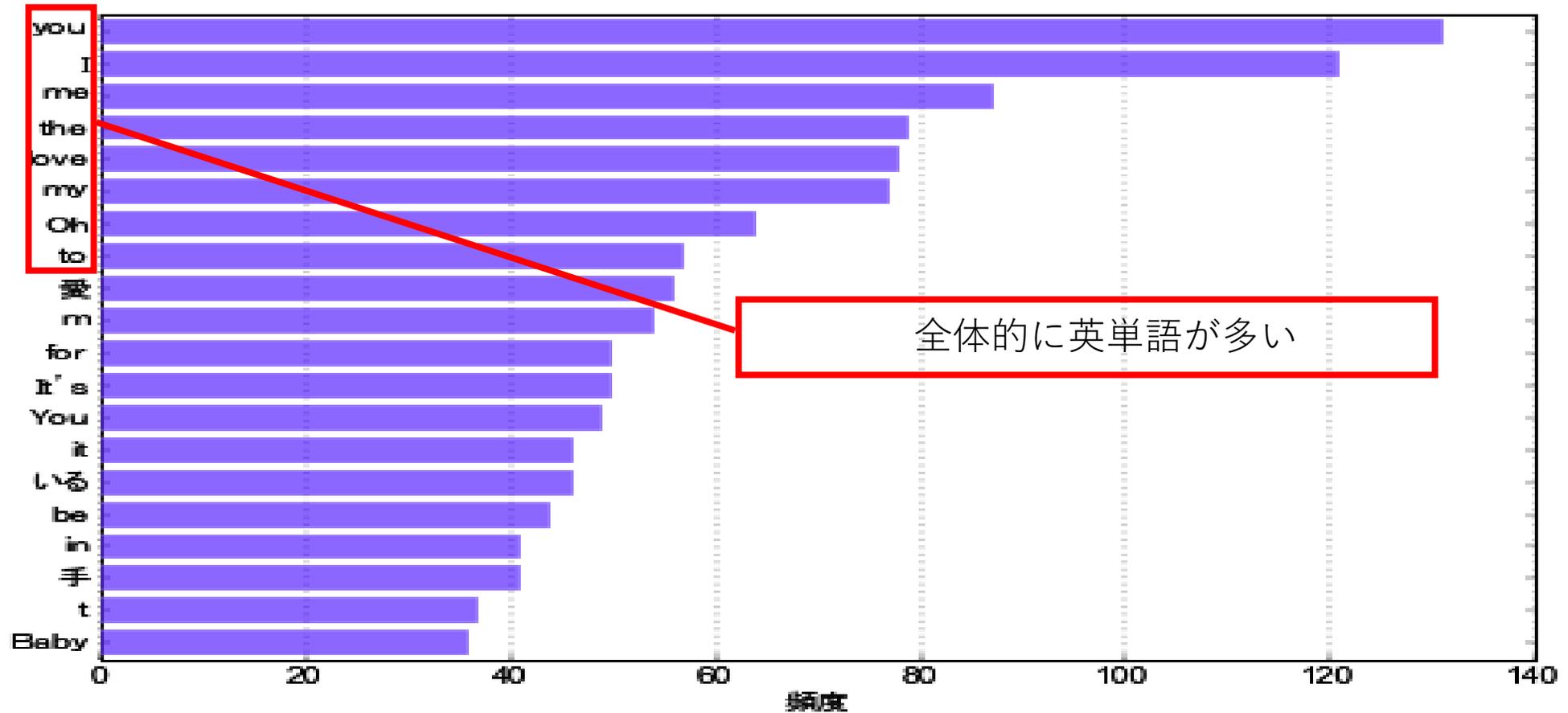
4. 分析方法

- **単語頻度分析**
- **ことばネットワーク**

5. 単語頻度分析

第2次韓流ブーム(2010~2012年)

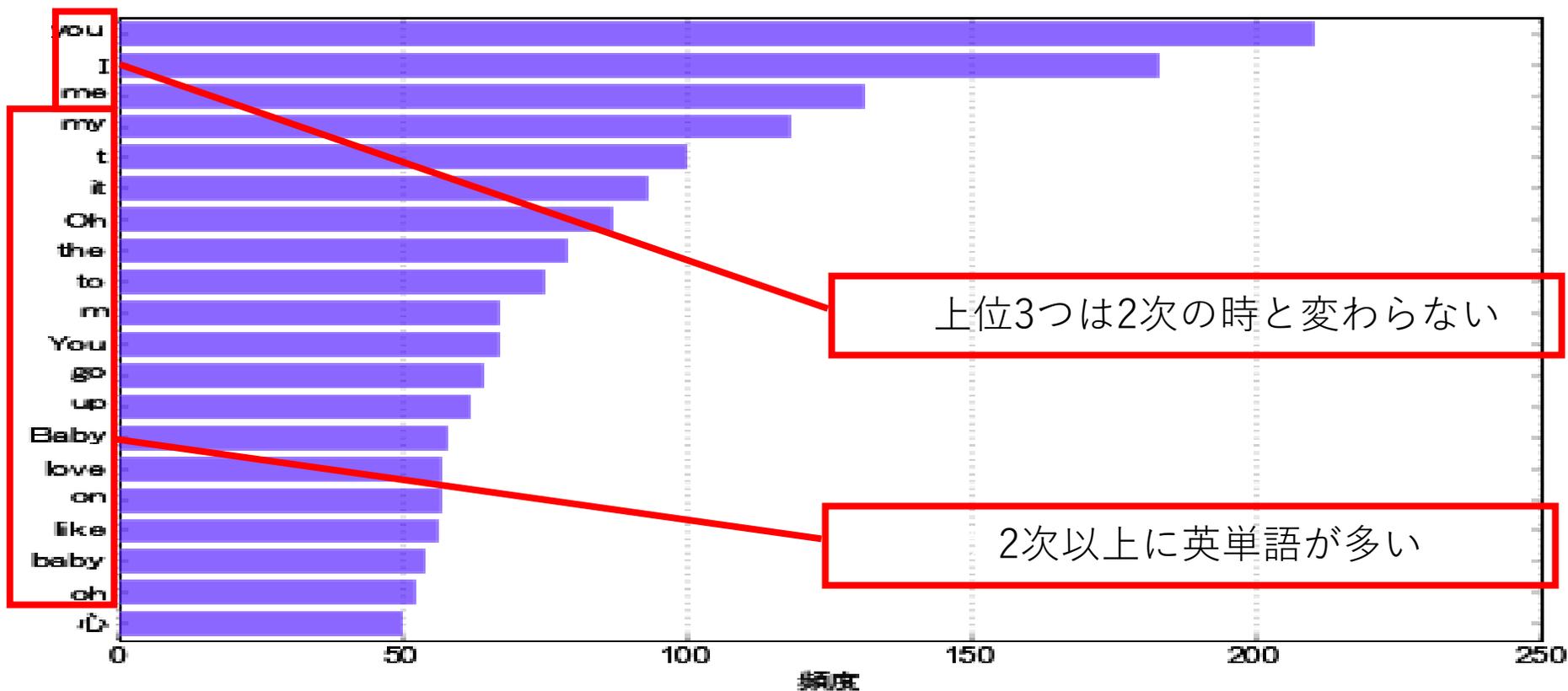
第2次韓流ブーム(2010年~2012年)



5. 単語頻度分析

第3次韓流ブーム(2017～現在)

第3次韓流ブーム(2017～現在)



～単語頻度分析のまとめ～

- 2次、3次と英単語がほとんどを占めた
→どちらも上位3つは「you」「I」「me」であった
- 「愛」「love」といった恋愛系の単語も多く使われている
- 3次は「go」「up」といったポジティブな単語が目立つ

6. 考察

- ・ 1次、2次と英単語が多い

→ アイドル側が日本語を話せないため、日本人でも聞き取りやすい英語を積極的に歌詞に盛り込んだのではないか。

- ・ 決まった単語の繰り返しが多い

→ **キャッチーな歌**にすることで、日本人に口ずさんでもらえるようにしたと考えられる。

- ・ 恋愛系の単語が多い

→ **感情に訴えかける**ことで、多くの人に聞いてもらうという意図があるのではないか。

7. 参考文献

- ・ UTANET

<https://www.utanet.com/search/?Aselect=1&Bselect=3&Keyword=nct%20127&sort=4> (2020/12/15 閲覧)

- ・ お隣速報

<https://news.goo.ne.jp/article/postseven/entertainment/postseven-1584584.html> (2020/12/15 閲覧)

- ・ goo ニュース

コロナによる外出自粛でブレイクした「第4次韓流ブーム」

<https://news.goo.ne.jp/article/postseven/entertainment/postseven-1584584.html> (2020/12/15)